






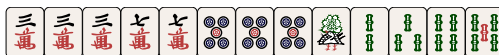
## 2. 符計算の注意事項




### (1) リャンメンに隠れたカンチャン



この牌姿は  のリャンメン待ちであるが、 ツモのときは  のカンチャン待ちと捉えることができ、待ちに関する2符がつくため40符となる。




### (2) リャンメンに隠れたペンチャン



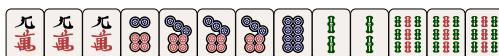
この牌姿は  のリャンメン待ちであるが、 ツモのときは  のペンチャン待ちと捉えることができ、待ちに関する2符がつくため40符となる。





### (3) リャンメンに隠れた単騎



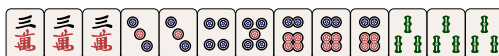
 の3メン待ちであるが、 ツモのときは  のタンキ待ちと捉えることができ、待ちに関する2符がつくため40符となる。






### (4) シャンポンに隠れたカンチャン



1. (3)でも扱った牌姿であるが、符計算の立場から再度確認しよう。この牌姿は  待ちであり、リーチをしているものとする。このとき、 ロンではリーチのみの1翻であるが、 ロンでは  のカンチャン待ちと捉えると、三暗刻がつくため、3翻60符となる。

### (5) 三色同刻つく？ つかない？



この牌姿は  待ちであり、 ロン (リャンメン待ち扱い) のとき、タンヤオ・三暗刻の3翻50符であるが、 ロンのときは、 雀頭とすると、タンヤオ・三色同刻の3翻40符、 を雀頭 (単騎待ち扱い) とすると、タンヤオ・三暗刻の3翻50符の2パターンのメンツ構成が考えられるが、高点法によりタンヤオ・三暗刻を採用する。